案件概要表

Ⅰ. 提案事業の概要	
1. 対象国名	トルコ共和国
2. 案件名	シリア難民とホストコミュニティへの保護支援強化と社会的結束促進事業
3. 事業の背景と必要性	2011 年に始まったシリア内戦により、現在トルコ国内には 300 万人を超えるシリア難民がホストコミュニティのトルコ市民と共に生活している。トルコ政府はシリア難民の合法的な滞在およびトルコ人と同等に医療・教育などの公共サービスを提供する法的整備を進めてきた。しかし、情報へのアクセスがないことや言語の違い、知識の不足等の障壁により、多くのシリア難民は公的サービスや支援を享受できていない。また近年の急激なインフレによる雇用機会の喪失や生活費の高騰、深刻な経済状況のなか、行政が担う難民支援の負担増や、生活習慣や文化の違いによる摩擦から、シリア難民とホストコミュニティ住民の間に緊張が高まっている。 本事業は、トルコ政府のシリア難民に対する政策や方針を補完・強化する形で、シリア難民とホストコミュニティ住民の抱える課題の把握とアウトリーチによる緩和・解決を図る。さらには社会的結束を促進する活動を通じ、両者間の信頼関係の醸成を目指す。
4. プロジェクト目標	シリア難民とホストコミュニティ住民の公的機関・支援団体へのアクセスと社会的結束を促進する活動を通じ、信頼関係の醸成に向けて両者の社会的距離が縮まる
5. 対象地域	メルシン県メルシン市
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	【直接受益者】メルシン市居住のシリア難民 1,100 人、トルコ住民 1,100 人(計 2,200 人) 【間接受益者】メルシン市居住のシリア難民 7,600 人、トルコ住民 4,120 人(計 11,720 人)
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	【成果】 ① カウンターパート機関であるユースセンターにおいて、シリア難民およびホストコミュニティ住民向け支援サービス(個別相談)のための実施体制が確立する ② シリア難民およびホストコミュニティ住民に対して、ユースセンターの支援サービスが適切に提供される ③ シリア難民とホストコミュニティ住民間の社会的結束活動に、双方バランスよく参加する仕組みができる。 【活動】 ① 公的機関・支援団体の基礎情報と各機関が提供している支援内容をリスト化し、人々を必要な支援につなげるための体制を構築する。ボランティア(ユースセンター所属のボランティアユースワーカーと現地提携団体ボランティア)をメンバーとする「よりそいチーム」を結成し、個別相談の実施に向けて、場所づくり、マニュアル・様式の作成、よりそいチームに対する研修を実施する。 ② 実施団体の監督のもと、個別相談サービスの周知を目的とした家庭訪問、個別相談サービスの提供、課題の把握・共有・改善について協議するモニタリング会議の定期実施、よりそいチームに対するリフレッシュ研修を開催する。 ③ 実施団体の監督のもと、社会的結束促進活動に係るニーズ調査を行う。その結果をもとに活動実施のための研修を提供し、研修受講者が主体となり社会的結束活動・イベントを企画・実施する。
8. 実施期間	2023 年 11 月～2026 年 10 月(計 36 か月)
9. 事業費概算額	98,985 千円
10.現地カウンターパート	【相手国政府関係機関】トルコ共和国青年スポーツ省 【カウンターパート機関】青年スポーツ省地方局ユーススポーツセンター
Ⅱ. 実施団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 Reach Alternatives(REALs)
2. 活動内容	【主な活動】「紛争・テロ・社会的な暴力」を防ぎ、乗り越え、共存できる社会を目指す。一時的な変化ではなく、社会全体に持続する変化を残していくために、1.人材育成によって平和の担い手を育てる、2. 問題解決のしくみをつくる、3.争いを予防できる社会に変えていく、という流れで活動を実施している。 【活動分野】争いの予防、共存を実践する支援、ジェンダーの視点を取り入れた課題解決、心のケア、緊急支援、日本国内での講演会などの啓発活動 【活動地域】ケニア、ソマリア、南スーダン、トルコ、シリア、アフガニスタン